

# 教育のつどいヒロシマ2025

## 「主権者を育てる教育を」学校・教室から…

### 問題別・教科別、記念講演に のべ220名の参加！



鈴木大裕さんによる記念講演

11月15日(土)広島市・観音中学校で「教育のつどいヒロシマ2025」が開催されました。午前中の問題別分科会に50名、午後の教科別分科会に63名が参加。登録され、報告されたレポートは62本。学校や子どもたちの姿や困難な中での実践の工夫や苦労などを大いに交流し、学びました。会場を提供し、お世話していただいた観音中分会、職場のみなさんに感謝します。

#### 記念講演に一〇〇人超

11月15日(土)広島市・観音中学校で「教育のつどいヒロシマ2025」が開催されました。午前中の問題別分科会に50名、午後の教科別分科会に63名が参加。登録され、報告されたレポートは62本。学校や子どもたちの姿や困難な中での実践の工夫や苦労などを大いに交流し、学びました。会場を提供し、お世話していただいた観音中分会、職場のみなさんに感謝します。

○あらゆる問題の本質が語られとても分かりやすくスッキリした。政府や行政

夕方からは広島ロードビルに会場を移して全体会を開催。オーピーニングでは有志による『生命輝

タ方からは広島ロードビルに会場を移して全体会を開催。オーピーニングでは有志による『生命輝

#### 《記念講演の感想から》

く明日へ』の合唱があり、会場が感動と一体感に包まれました。記念講演は鈴木大裕さん(教育研究者・土佐町議会議員)による「崩壊する日本の公教育」私たちはどこに希望を見出すのか。会場82名、オンライン27名が大裕さんの説得力のある話に聞き入りました。講演の合間に質問コーナーを設けて会場とやりとりしながら話を進める大裕さん。2時間があつという間に過ぎました。

た。

うと思いました。搾取する側に協

かないとと思う。すごく厳し

い現実を前にして何ができる

の誤った思考を正すには、

全国の公教育に携わっている教職員・保護者・地域が大きな運動を起こすしかないと思う。早くなんとかしな

うと思います。

り戻すという話に納得。大

人も子どももワクワクする

学校にするためにはそれ

いと思う。早くなんとかし

なことになる。

た。

ありました。搾取する側に協

かないとと思う。すごく厳し

い現実を前にして何ができる

の誤った思考を正すには、

全国の公教育に携わっている教職員・保護者・地域が大きな運動を起こすしかないと思う。早くなんとかしな

うと思います。

り戻すという話に納得。大

人も子どももワクワクする

学校にするためにはそれ

いと思う。早くなんとかし

なことになる。

た。

ありました。搾取する側に協

かないとと思う。すごく厳し

い現実を前にして何ができる

の誤った思考を正すには、

全国の公教育に携わっている教職員・保護者・地域が大きな運動を起こすしかないと思う。早くなんとかしな

うと思います。

り戻すという話に納得。大

人も子どももワクワクする

学校にするためにはそれ

いと思う。早くなんとかし

なことになる。

た。

ありました。搾取する側に協

かないとと思う。すごく厳し

い現実を前にして何ができる

の誤った思考を正すには、

全国の公教育に携わっている教職員・保護者・地域が大きな運動を起こすしかないと思う。早くなんとかしな

うと思います。

り戻すという話に納得。大

人も子どももワクワクする

学校にするためにはそれ

いと思う。早くなんとかし

なことになる。

た。

ありました。搾取する側に協

かないとと思う。すごく厳し

い現実を前にして何ができる

の誤った思考を正すには、

全国の公教育に携わっている教職員・保護者・地域が大きな運動を起こすしかないと思う。早くなんとかしな

うと思います。

り戻すという話に納得。大

人も子どももワクワクする

学校にするためにはそれ

いと思う。早くなんとかし

なことになる。

た。

ありました。搾取する側に協

かないとと思う。すごく厳し

い現実を前にして何ができる

の誤った思考を正すには、

全国の公教育に携わっている教職員・保護者・地域が大きな運動を起こすしかないと思う。早くなんとかしな

うと思います。

り戻すという話に納得。大

人も子どももワクワクする

学校にするためにはそれ

いと思う。早くなんとかし

なことになる。

た。

ありました。搾取する側に協

かないとと思う。すごく厳し

い現実を前にして何ができる

の誤った思考を正すには、

全国の公教育に携わっている教職員・保護者・地域が大きな運動を起こすしかないと思う。早くなんとかしな

うと思います。

り戻すという話に納得。大

人も子どももワクワクする

学校にするためにはそれ

いと思う。早くなんとかし

なことになる。

た。

ありました。搾取する側に協

かないとと思う。すごく厳し

い現実を前にして何ができる

の誤った思考を正すには、

全国の公教育に携わっている教職員・保護者・地域が大きな運動を起こすしかないと思う。早くなんとかしな

うと思います。

り戻すという話に納得。大

人も子どももワクワクする

学校にするためにはそれ

いと思う。早くなんとかし

なことになる。

た。

ありました。搾取する側に協

かないとと思う。すごく厳し

い現実を前にして何ができる

の誤った思考を正すには、

全国の公教育に携わっている教職員・保護者・地域が大きな運動を起こすしかないと思う。早くなんとかしな

うと思います。

り戻すという話に納得。大

人も子どももワクワクする

学校にするためにはそれ

いと思う。早くなんとかし

なことになる。

た。

ありました。搾取する側に協

かないとと思う。すごく厳し

い現実を前にして何ができる

の誤った思考を正すには、

全国の公教育に携わっている教職員・保護者・地域が大きな運動を起こすしかないと思う。早くなんとかしな

うと思います。

り戻すという話に納得。大

人も子どももワクワクする

学校にするためにはそれ

いと思う。早くなんとかし

なことになる。

た。

ありました。搾取する側に協

かないとと思う。すごく厳し

い現実を前にして何ができる

の誤った思考を正すには、

全国の公教育に携わっている教職員・保護者・地域が大きな運動を起こすしかないと思う。早くなんとかしな

うと思います。

り戻すという話に納得。大

人も子どももワクワクする

学校にするためにはそれ

いと思う。早くなんとかし

なことになる。

た。

ありました。搾取する側に協

かないとと思う。すごく厳し

い現実を前にして何ができる

の誤った思考を正すには、

全国の公教育に携わっている教職員・保護者・地域が大きな運動を起こすしかないと思う。早くなんとかしな

うと思います。

り戻すという話に納得。大

人も子どももワクワクする

学校にするためにはそれ

いと思う。早くなんとかし

なことになる。

た。

ありました。搾取する側に協

かないとと思う。すごく厳し

い現実を前にして何ができる

の誤った思考を正すには、

全国の公教育に携わっている教職員・保護者・地域が大きな運動を起こすしかないと思う。早くなんとかしな

うと思います。

り戻すという話に納得。大

人も子どももワクワクする

学校にするためにはそれ

いと思う。早くなんとかし

なことになる。

た。

ありました。搾取する側に協

かないとと思う。すごく厳し

い現実を前にして何ができる

の誤った思考を正すには、

全国の公教育に携わっている教職員・保護者・地域が大きな運動を起こすしかないと思う。早くなんとかしな

うと思います。

り戻すという話に納得。大

人も子どももワクワクする

学校にするためにはそれ

いと思う。早くなんとかし

なことになる。

た。

ありました。搾取する側に協

かないとと思う。すごく厳し

い現実を前にして何ができる

の誤った思考を正すには、

全国の公教育に携わっている教職員・保護者・地域が大きな運動を起こすしかないと思う。早くなんとかしな

うと思います。

り戻すという話に納得。大

人も子どももワクワクする

学校にするためにはそれ

いと思う。早くなんとかし

なことになる。

た。

ありました。搾取する側に協

かないとと思う。すごく厳し

い現実を前にして何ができる

の誤った思考を正すには、

全国の公教育に携わっている教職員・保護者・地域が大きな運動を起こすしかないと思う。早くなんとかしな

うと思います。

り戻すという話に納得。大

人も子どももワクワクする

学校にするためにはそれ

いと思う。早くなんとかし

なことになる。

た。

ありました。搾取する側に協

かないとと思う。すごく厳し

い現実を前にして何ができる

の誤った思考を正すには、

全国の公教育に携わっている教職員・保護者・地域が大きな運動を起こすしかないと思う。早くなんとかしな

うと思います。

り戻すという話に納得。大

人も子どももワクワクする

学校にするためにはそれ

いと思う。早くなんとかし

なことになる。

た。

ありました。搾取する側に協

かないとと思う。すごく厳し

い現実を前にして何ができる

の誤った思考を正すには、

全国の公教育に携わっている教職員・保護者・地域が大きな運動を起こすしかないと思う。早くなんとかしな

うと思います。

り戻すという話に納得。大

人も子どももワクワクする

学校にするためにはそれ

いと思う。早くなんとかし

なことになる。

た。

ありました。搾取する側に協

かないとと思う。すごく厳し

い現実を前にして何ができる

の誤った思考を正すには、

全国の公教育に携わっている教職員・保護者・地域が大きな運動を起こすしかないと思う。早くなんとかしな

うと思います。

り戻すという話に納得。大

人も子どももワクワクする

学校にするためにはそれ

いと思う。早くなんとかし

なことになる。

た。

ありました。搾取する側に協

かないとと思う。すごく厳し</p

# 頭を寄せ合って、語り、聞きあうことで見えてくる大切な事

## 【分科会の感想から】



4本のレポートで充実した学び  
発達・学力・教育課程分科会

○どの子も大切に育ててい  
きたいという熱い思いのつ  
まつたレポートを聞かせて  
いただきました。「どの子も大切  
に」の思いに立ち戻らせて  
もらいました。(障害児教  
育・障害者問題)

○F先生が児童に向き合  
て大変だったけど少しづつ  
改善された様子が心に残っ  
た。あきらめず続ける指導  
は最後には子どもたちに響  
くことを学んだ。(生活指  
導・自治的活動・主権者教  
育)

○次の学習指導要領が目指  
すものや特別支援の課題、  
ICT教育の課題など多岐  
にわたって学習してきた。教  
育予算を増やして、教育条  
件を整備していくことでゆ  
とりをもって子どもの声を  
この「つどい」は大切にし  
なければならない。(社会科)

○中学生のつまずきに関す  
るレポートで深く協議でき  
た。知識をはり付けてもす  
ぐはがれおちてしまう。手  
と身体を通して学び、学ぶ  
べき本質を体に浸透させる

○物品の購入の工夫や転勤  
後のいろいろな改善を聞け  
て勉強になった。市教委の  
問題も改善してほしい。(学  
校事務)

○A.I時代の中、社会科で  
子どもの目をどうすればイ  
キイキとさせられるか。こ  
れを議論する場となつた。  
この「つどい」は大切にし  
なければならない。(社会科)

○教師として子どもに向き  
合う時間、授業をする工  
夫、その一つひとつが心を  
込めて準備する大切さを感  
じた。これからもゆとりの  
ある働き方、全く仕事をは  
なれての充分なゆとり、文  
化的な生活を保障しなけれ  
ば日本の未来はない。(音楽)

○すばらしい時間でした。  
書くことのすばらしさ、学  
級通信の取り組みのすば  
らしさ、新しい平和教材の苦  
悶しながらの実践のすば  
らしい。(国語)

○普段学校に教科担当が一人  
のことが多いため、交流で  
きてよかったです。美術は社会  
と深く関わっていて、私も  
子どもたちにそのようなこ  
とを伝えられる授業がした  
いと思う。(図工・美術)

こと。ではどんなゲームを  
できるか、ドリル的学習は  
否定しないけど前提として  
本質をつかむ授業が不可  
欠。(算数・数学)

○実験のノウハウ、経験を  
交流し工夫し、つくり出す  
楽しさを覚えた。理科の樂  
しさを子どもたちに伝える  
には、まず教師が楽しむこ  
と。(理科)

## 尾道・福山でも「教育のつどい2025」開催



尾道、福山の仲間が集って  
学び、語りあい合う



講師の  
藤井さん

全教尾道支部と福山支部は10月25日(土)、福山市内において「教育のつどい2025」を開催しました。今年は被爆・終戦80年をテーマに、「満蒙開拓団の聞き取り調査から学んだ」と「伝えよう、戦争の記憶を」けつて忘れてはならないこと、と題して藤井和寿さん(元小学校教諭、満蒙開拓団史の会会員、全教広島共同研究者)の講演をお願いしました。父母・市民もあわせ17名の参加で学び合いました。

講演は、藤井さんが実際に関係の方々から聞き取られた内容をもとに進められました。藤井さんは、「新しい戦前」という言葉が聞かれるようになつていますが、今日は「本当にあつた戦前」について学びました。

藤井さんはまとめとして、(1)戦争で死ぬのは兵士だけではない。(2)開拓団の人々が見捨てられていく中で、開拓団の過程などについて縦横に語られました。

東北部)を侵略していった過程、そして戦況が厳しくなつていく中で、開拓団の人々が見捨てられていくたつた。藤井さんは、「国を守れ」とは言つても、國民を守つてくれない。(3)戦争は、國民を被害者にも加害者にもする。害者とともに、國民を守つてはくれない。①戦争で死ぬのは兵士だけではない。②(政府は)「國を守れ」とは言つても、國民を守つてくれない。③戦争は、國民を被害者とともに加害者にもする。

この3点を挙げ、「日本の被害と加害の歴史をきちんと学ぶことが大切です」と述べて90分の講演を締めくくられました。

低賃金、物価高騰に苦しむ國民の声をよそに、「世界の真ん中で咲き誇る日本」、「強い日本」を強調する新政権が生まれました。私たちは歴史を学び直すことでこれを厳しく批判し、情勢を学び、平和教育・運動を進めいく必要があることをあらためて学ぶつ



## 戦争する国づくりストップ！

# 「非核三原則」の見直し検討を撤回せよ!

高市首相は、安保関連文書の改定に伴い、「非核三原則」の見直しを検討していることが明らかになりました。被爆者の願いを踏みにじるこの暴挙を被爆地ヒロシマは決して許せません。

また、安保3文書の改定をすすめ、トランプ米政権いいなりのGDP比3・5%（約21兆円）等、さらなる大軍拡をすすめようとしています。これら就任一ヶ月の間に戦争する国づくりにまつしぐらの高市政権に断固抗議の声を被爆地ヒロシマからあげるため、憲法と平和を守る広島共同センター等の呼びかけで、11月19日に広島市中心部でアピール行動が実施されました。県被団協の佐久間理事長ら6名がマイクを握り、えびす講でにぎわう市民にアピールしました。

前市教組（全教）委員長、ヒロシマ労連議長の寺本さんは、「非核三原則の変更を許せば、核兵器をこの地球からなくしていこうとする国際的努力に逆行し、唯一の戦争被爆国としての日本の信頼は地に落ちてしまう



# 海田支部 BBQで パワーせんかい!

共済もしてへりカブ 全教共済のよし実感!

佐伯支部では、11月11日に支部組合事務所で共済おしゃべりカフェを開催し8名が参加しました。講師に西田書記を招いて、全教共済について説明を聞き、交流しました。参加者からは「初めて聞く話などに驚いた」「どれも全教らしさがある共済に改めて感動した」などの感想が語られました。四海支部長は、服務研修で、自身の交通事故の際に、被害者に対して謝意をしつかり伝えることが、自身の身分を守ることにつながる（全教対応）と話したという経験を語りました。また『給付忘れありますか？』のカードを職場で渡す際に、「自分の学校にこんなに共済に加入している人がいるとは知らなかつた」と全教共済の広がりを感じ、うれしかつたという声もありました。全教が行っているからこそできる共済だということが分かり、職場で広げようと思える会になりました。

お申込みは、全教広島または各支部へ 2025年10月～1月限定！

# 「ギット いいことあるよ♥キャンペーン」

共済加入者・紹介者全員に キットカット 20コプレゼント!  
さらに!  
期間中の加入者・紹介者 20名の方に  
フリンクスホテル  
豪華ラッシュツアーキットカット 2月限定

広島県のゆきとどいた教育をすすめる秋のつどい

# 日本政府はこの遺骨を見捨てるのか！ 歴史に埋もれた長生炭鉱の大事故から考える



## 「刻む会」共同代表 井上洋子さん

井上さんは、1942年年に起きた宇都市の長生炭鉱での坑道が水没する事故について、国策が招いた「人災」であると指摘し、今日の遺骨発見に至るまでの取り組みとたたかいを報告しました。この問題にかかわって、日本政府が後ろ向きな対応しかとらない中、韓国政府や市民に訴え、粘り強いたたかいをすすめる中でプロダイバーなど様々な協力を得て遺骨発見に至る過程は、まさにドラマさながら。市民運

今回は、被爆・戦後80年企画として、今話題の「長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会（刻む会）」に共同代表の井上洋子さんにお講演をお願いしまし

10月26日(日)、広島市内で「ゆきどどいた教育すすめる秋のつどい」を開催し、35名が参

動の典型を示されている  
ような活動から多くのこ  
とを学びました。最後に  
井上さんは「長生炭鉱の  
遺骨収容・返還のたたか  
いは、同時に日本の加害  
の歴史に向き合う道程  
だ」と強調しました。会  
場で緊急に呼びかけたカ  
ンパは5万円を超えて集  
まりました。

動の典型を示されている  
ような活動から多くのこ  
とを学びました。最後に  
井上さんは「長生炭鉱の  
遺骨収容・返還のたたか  
いは、同時に日本の加害  
の歴史に向き合う道程  
だ」と強調しました。会  
場で緊急に呼びかけた力  
ンパは5万円を超えて集  
まりました。

12/5  
(金)まで  
に署名を  
書記局へ

# 県内各地で…「せんせいかんぱって！」 ゆきとといった教育すすめる街頭署名



山本市教組（今教）書記長の教子が通りがかり、対話が弾みました。また、私学の生徒がマイクを握つて署名を訴えるなどして、約30分の行動で30筆が集まりました。立ち止まつて熱心に訴えに耳を傾ける人もいました。

上記の「つどい」の後、広島駅北口において街頭署名を行いました。この行動には広私教や父母懇のみなさん、高校生も参加し、15名の

署名活動には、O.G・O.Bの方3名が参加してくださいり、6名で行いました。

A man in a grey quilted jacket and glasses is looking down at a map or document. A woman in a pink jacket is pointing at the same document. They are outdoors, with a building and trees in the background.

ある女性は「娘が東京の中学校で英語の教員になつて3年目。『もう体がもたない』と毎日口にしています。こうした運動をぜひがんばつてください」と話されました。

福山支部も、福山駅前で街頭署名に取り組みました。当日は、同場所で行われた県知事選挙街頭演説を聴きに来られていました。市民の方々、飛び

福山